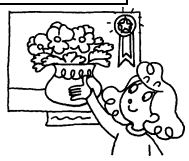
岡崎市立額田中学校
校長室だより
R8. 11. 2
no. 6



Challenge・Respect・Smile

敬・愛・信

「額中タイムス」巻頭言より

「歌の輪がひろがる」

いざ歌え　われらが友よ
歌えばいつか　心もはずむ
いざ歌え　われらが友よ
歌声たかく　希望を胸に
ひそかに明けゆく　夜明けがくるように
歌の輪がひろがる

いざ歌え　われらが友よ
歌えばきっと　心もなごむ
いざ歌え　われらが友よ
歌声ひびく　夢を抱いて
しなやかに伸びゆく　夜明けがくるように
歌の輪がひろがる

歌え　歌え　歌え
いざ歌え

（岡崎市立額田中学校
全校合唱曲「歌え　歌え！！」より）

生徒が本気で取り組んだ合唱コンクールが終わった。難しい曲に挑戦し、早くからパート練習を始めた学級。なかなかうまくいかなくて、何度も話し合った学級。

合唱コンクールは、学級が本気で取り組む最大の行事である。生徒たちの心の成長も大きい。当然、担任の先生たちにも力が入る。

審査委員を務めてくださった柏木典子先生は「合唱は、自分の感情をしっかり出した上で、歌声をそろえていくもの。何十、何百と練習を重ねると、不思議とそろっていく」ものだと教えてくださった。

歌は、何度も何度も繰り返すことで、気持ちもそろっていく。学級が一つになり、学年が一つになる。そして、学校が一つになる。不思議だ。

額田中学校文化祭のテーマ「彩」は、「いろどる」でなく、「いろどり」である。
一人一人の歌声が、それぞれの「彩」となって、一つの曲を飾っていく。いろどり豊かな歌声は、体育館いっぱいに歌の輪としてひろがった。心を込めて歌った６つの合唱は、聴く人の心だけでなく、歌った生徒たち自身の心にも、大切な何かを残したはずだ。
その経験こそ、これからの学校生活を支える力になっていくと信じている。